

授業科目 社会福祉学特論Ⅴ (医療福祉・精神障害者 福祉特論)		科目概要・形式 4 単位 60 時間(30 コマ) 講義科目	配当年次 博士前期 2 年次 前期開講	オンライン参加 可 ・不可 (下記 7 参照)
科目責任者	石田 賢哉 (非常勤)			
担 当 者	石田 賢哉 (非常勤)			
1. 科目のねらい・目標				
一般科，精神科の区別なく保健医療サービスと密接な関係にある傷病障害者を主な対象とした社会福祉サービスが抱える課題の理解，そしてその課題を克服するために払われてきた努力について概観する。 「課題」には保健医療サービスや社会福祉サービスそのものが内包するものもあるが，それらを取り巻く制度等の外部環境によるものもある。これらを俯瞰しつつ，どのような努力が払われ，どのような成果を出してきたのか。また，これらに関する研究事例等にも触れながら，理解を深める。				
2. 授業計画・内容				
PartⅠ (1) ～ (3) 保健医療サービスと社会福祉サービスの関係をその歴史とともに俯瞰し，これまでの歴史的な出来事（保健医療サービスと社会福祉サービスの専門職関係，インフォームドコンセントを嚆矢とする人権と医療，介護保険の登場など）の理解。				
PartⅡ (4) ～ (12) 主に一般科領域を中心とした，研究事例・課題克服事例を通じて学ぶ保健医療福祉課題とその対処・対応についての講義および演習。				
PartⅢ (13) ～ (24) 主に精神科領域を中心とした，研究事例・課題克服事例を通じて学ぶ保健医療福祉課題とその対処・対応についての講義および演習。				
PartⅣ (25) ～ (30) 受講生の興味関心（あるいは自らの研究テーマ）と関連させながら，幾つかのトピック（テーマ）を掲げて，その事柄に関する報告，ディスカッションを通じて，理解を深める。				
3. 教科書、参考書				
(教科書) なし (参考書) 日本社会福祉学会誌等，社会福祉関連学会の学会誌を参考に用いることがあります。その他の参考書等は随時紹介いたします。				
4. 成績評価方法				
出席状況、演習、プレゼンテーション、レポートなどを勘案して、総合的に評価します。				
5. 受講要件				
特にありませんが，グループディスカッションやプレゼンを含みますので，留意してください。				
6. 社会人学生に対する配慮				
日程・内容とも要望があれば，可能な限り柔軟に対応します。				
7. その他				
オンラインでの受講を希望する方は、事前にご相談下さい。 オンデマンドは実施しません。				